

事業結果要約報告書		受付番号
		2024 KJ-015
－科学技術振興関係－		
公益財団法人 マツダ財団 御中		
		2025年 3月 3日
所属機関名	岡山大学	
申請代表者		
役職	教授	
フリガナ	フクダ フミオ	
氏名	福田 文夫 印	
(TEL :)	
マツダ財団から受けた <u>助成金 105千円</u> による事業結果について、次のとおり報告します。		
助成事業名	ピオーネづくり名人を目指そう (事業期間： 2024年6月1日～ 2024年 9月28日)	
	計 画	実 施 結 果
日時	6月1日・29日・9月28日	日時 6月1日・29日・9月28日
場所	岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター果樹園	場所 岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター果樹園
対象	小学校4-6年生と保護者	対象 小学校4-6年生と保護者
定員	20名	参加者(人) 32人
内容	ピオーネ房づくりを3回に分けて、実習し、ブドウの房づくりを実現している技術やその成り立ちを理解してもらって、園芸科学やブドウの発育生理の面白さを感じてもらうことを目的とする事業を実施する。	内訳(小中高の先生； 0人)(生徒； 19人) 内容 ピオーネ房づくりを通して、種無し処理や粒間引き、ブドウの色づきや香りを元に収穫することを理解し、果実が生長する機構を知って、名人を目指した。 講演； 件、発表； 件、シンポジウム； 件

※太枠内は後日「事業助成報告書」と「マツダ財団ホームページ」へ掲載させていただく予定ですので、予めご了承ください。「事業助成報告書」は、1件あたり見開き2ページ程度。事業結果報告（以下の項目について具体的にご記入ください。形式・レイアウト自由、ボリュームは適宜調節ください。）

事業の目的・ねらい

岡山県特産のブドウ‘ピオーネ’の房づくりを通して、核となる種無し、粒間引き技術を体験したり、変わっていくブドウの様子を観察して植物のダイナミクスを理解する。果実という身近な素材においても、色々の植物生理や栽培技術が利用されていることを知り、農学に興味を持ってもらいたい。

事業の概要

第1回 令和6年6月1日（土） 10時～12時 ブドウの種無し処理

育ててみたいブドウの枝を2つ選んで、枝管理を行った後、1枝当たり2つある果房から、1つを選び、ジベレリン処理を行った。この2回目のジベレリン処理によって、種があるかのように勘違いさせて、栄養を送り続けさせることができることを理解した。

第2回 令和6年6月29日（土） 10時～12時 ブドウの粒間引き・袋掛け

4週間で肥大した果粒を、収穫時の果粒の大きさや房の形を想像しながら、どれだけどこを残すかどうか決めていく作業を実施した。慣行栽培では、1房当たり40果粒ぐらいに絞るが、数を受講者に任せるところ、しっかり間引き、よい果実を作ろうとすることが理解できた。粒間引きが終わった後に、果実袋をかぶせた。果実袋の物理防除効果について説明し、しっかり袋の口を閉じて虫が侵入しないように袋掛けを行ってもらった。

途中、収穫までその果房が十分な生長を保つように、補助学生3名が交代で、7月半ばから9月半ばに腐敗果粒の除去や枝の生長管理を行った。

第3回 令和6年9月28日（土） 10時～12時 ブドウの収穫

FSセンターで栽培されている他のブドウ房（シャインマスカットやピオーネと同じグループのブドウ）について試食し、その味わいの違いを理解した。それぞれが育てたピオーネを収穫し、品評会を実施した。

最後に、受講者の皆さんに、房づくり体験についてのまとめを発表してもらい、理解度を紹介しあった。これらの活動を総合して、ピオーネづくり名人と認定し、修了証書を贈呈した。

成果・効果

受講者は、ブドウ果房の発育を、無核処理時期から収穫時期まで変化として捉え、その時期に応じた栽培技術を必要とすることを理解してもらえた。スーパーなどに並んでいるブドウがどのように作られているかを学べた。これにより、商品になるまでいかにいろいろな手が入っているかを理解してもらったことができたと思われる。一方、収穫したてのブドウ‘ピオーネ’のおいしさを理解してもらい、シャインマスカットとはまた違った良さがあることを実感できて、ブドウの味わいの多様性を認知してもらえたのではないかと思う。自身が開わり、生産者のノウハウが詰まった「房づくり体験」が起点となって果物離れがすこしでも減ればありがたい。

写真、図（4点程度。写真や図にはタイトルをご記入ください。）

ブドウ収穫方法の説明（第3回）



ピオーネの収穫作業



収穫後の品評会



他のブドウ品種との比較



※ 3ページ以降も自由に追加いただいて結構です。

※この「事業結果要約報告書」(Word)、デジカメ写真の画像(.jpegなどで、解像度を下げないもの)を、CD-R等に入れてご提供いただければ幸いです。

※みなさまの活動を「事業結果要約報告書」や「マツダ財団ホームページ」で、写真も含めてご紹介したいと思っております。写真撮影の際には、参加者の皆様にもその旨了解を得ておいてください。

参考) 他の写真



受講者が房づくりしたブドウ‘ピオーネ’の様子



他の参加者の収穫の様子